

システムの名称：NEO-BASIC Fb工法

第1章 システムの基本的な考え方

NEO-BASIC Fb 工法は、木造住宅の構造躯体変形によるクレームを排除し、顧客満足度を上げるために構造躯体を集成材化している。集成材に断面欠損が生じる部分についてはメタルジョイント（金物接合）を採用し、構造躯体の耐久性向上を図っている。

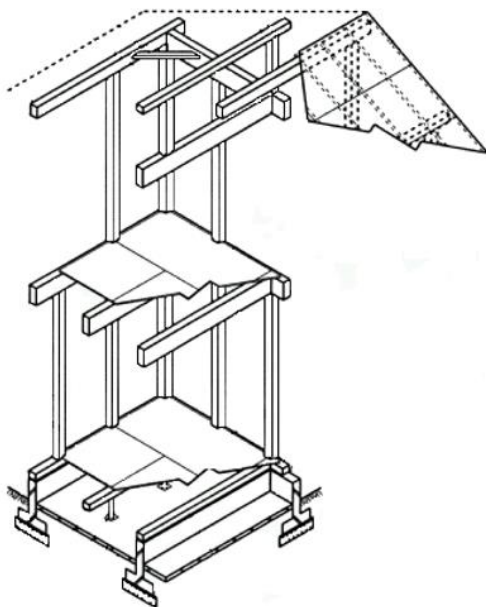
また、構造材、端柄材、床・野地合板、壁・間仕切パネルは、AQ 認証プレカット工場で生産するため、現場での生産性向上を図るとともに、工期短縮と高性能・高品質住宅の安定供給を可能としている。

第2章 システムの概要

2. 1 システムの概要

- ① JAS 規格の構造用集成材を構造躯体に使用することにより無垢材と比較してより高い強度と安定性を確保する。
- ② 断面欠損が大きくなるような梁の接合部分に、信頼性のある性能評価を受けたメタルジョイントを使用し強化接合することにより、木材の切り欠き量を必要最低限に止めて強度を確保し、また接合強度も確保する。
- ③ (公財)日本住宅・木材技術センターのAQ認定工場にて精密なプレカットを施し、構造材の安定した品質を確保する。
- ④ 住宅保証機構(株)の瑕疵担保責任保険を活用し、保全計画書の定めに基づいた築後35年までの保守点検サポート体制を整備する。

2. 2 構造パース及び標準仕様

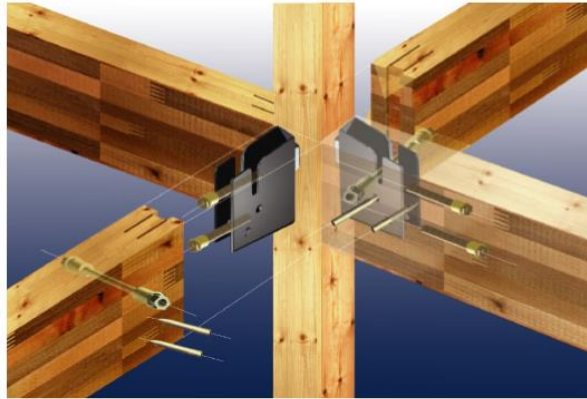


構造躯体の樹種及び寸法

部材(部位)名			樹種名	寸法
土台			EW、檜KD	105×105 120×120
大引根太			EW、杉、RW	
柱	大壁	通し柱	EW	105×105 120×120
		管柱	EW	
	真壁	通し柱	檜EW	
		管柱	檜EW	
桁・梁(胴差)			EW	105巾
母屋・棟木・隅谷木			杉・米松KD、EW	105×105
小屋束			杉・米松KD、EW	105×105
耐力壁面材(真壁パネル)			MDF	9mm厚
床			構造用合板	24・28mm厚

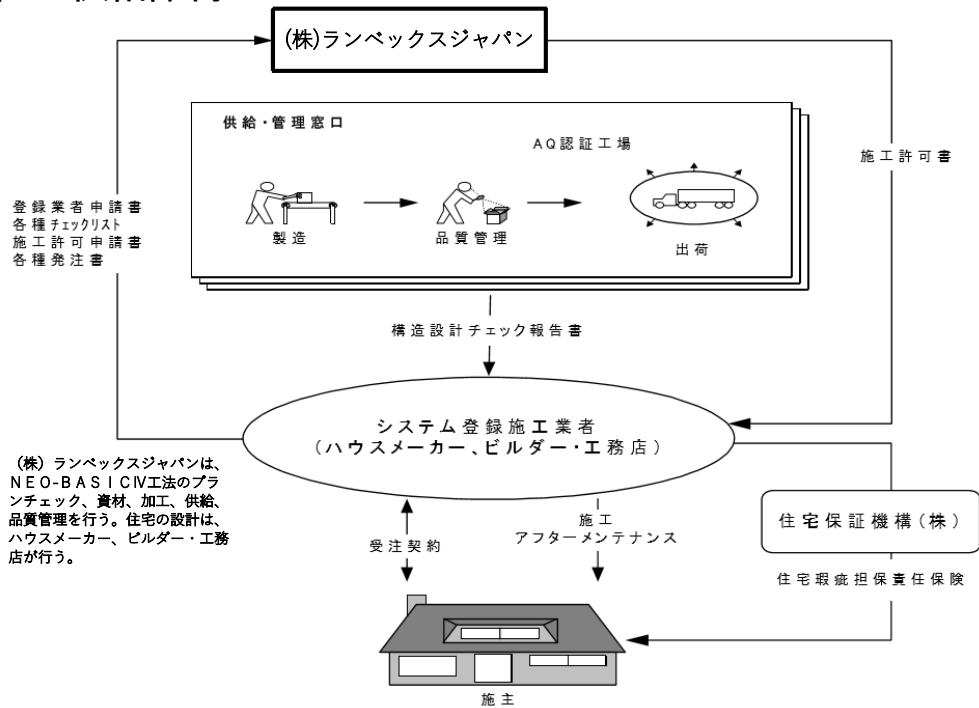
2. 3 メタルジョイント

NEO-BASIC Fb 工法では、構造材同士を金物で接合するメタルジョイント工法を採用



©Copyright(C)2005 (株)カナイ All Right Reserved.

第3章 供給体制について



第4章 維持管理について

4. 1 維持管理補修サービス

定期点検の実施

1年目、2年目、5年目、10年目に定期点検を実施し、以降は5年毎に有償にて実施。

4. 2 保全計画書

保全計画書は次の項目から構成されたものを作成する。

- ①対象部位
- ②保全期間及び、保全対象となる現象
- ③適用外の内容

4. 3 その他

住宅瑕疵担保履行法による資力確保の措置として、住宅保証機構株式会社の住宅瑕疵担保責任保険を活用する。